

福津市の皆様、新年明けましておめでとうございます。清々しく新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

私は昨年福津市長に就任し「新しい福津の推進」をはじめとする「福津まちづくり基本指針」を皆様への約束として所信表明を行い、邁進、奔走してきました。12月号で特集したように、福津の豊かな農水産物の販路拡大を観光と連動させる「新しいまちづくり組織の設立」構想を進めています。また、「対話」を重んじたボトムアップ型の政策形成を行うべきとの思いから、計6回の「ふくつ未来会議」を開催しました。

福津市は今、自然と歴史などその豊かな環境に惹かれて、子育て世代を中心に、多くの方が移り住んでくる大変元気なまちです。昨年は多くの市民の皆様に応援いただき、新原・奴山古墳群を構成資産とする世界文化遺産の登録が実現しました。

子育て・教育施設の整備などの課題もありますが、青い空、青い海、夕陽も魅力的な福津ロマンティックビーチ。宮地嶽神社、津屋崎千軒、畦町宿などの文化・伝統。こうした全国に誇れる福津市の魅力を発信し、市民福祉の向上のために職員一同一丸となって取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお慶び申し上げます。



福津市長

原 崎 智 仁

新年のごあいさつ

▲みずがめの郷から見た日の出

新年明けまして、おめでとうございます。市民の皆様におかれましては、すがすがしく、希望に満ちた新春を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

市では昨年7月に、かねてからの念願であった「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界文化遺産に登録されました。また、カメラアステージもオープンし、市の活性化に向けて着実に進んでいるものと考えます。

さて、「二年の計は元旦にあり」と申します。「新年」は、過去の諸々の事柄に区切りをつけ、心機一転再出発をする希望と勇気を与えてくれます。

ここに輝かしい新年を迎えるに当たり、私ども市議会も責任の重大さをより一層感じており、市民の皆様の負託にしっかりとこたえるべく、決意を新たにす次第でございます。市民の皆様が安心して生き生きと暮らせるまち、多くの人が交流し活気あふれる福津市の実現に向けて、今後ともより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が、市民の皆様にとってよりよい年となりますことを祈念いたしまして、新年のごあいさつとします。



福津市議会議長

梶 村 公 彦